

自己評価の結果について 令和3年度

学校法人旭川カトリック学園 天使幼稚園

1. 本園の教育目標

・キリスト教の精神と理念に基づいて、他者に対する思いやりと自己肯定の精神を育む。幼児の主体的な活動としての遊びを十分に確保し、遊びを通して周りの世界に興味をもち、探索し、思考する過程を大切にしたい教育を目指している。また、幼児期にふさわしい生活が展開されるように、園児と教師間の信頼関係に支えられた生活、興味や関心に基づいた直接的な体験が得られる生活、友達と十分にかかわって展開する生活がなされるように配慮した幼児教育を目指している。

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

- ・モンテッソーリ教育による自主選択活動を通して、人生の基本である自由・責任・集中力・自立心を養う。
- ・3・4・5歳縦割りクラスの中で、思いやり、尊敬、自他との調和を体得し、社会性を育てる。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目・目標	取り組み状況
1 保育の計画性 保育内容及び指導の在り方等を精査し、指導計画を策定し、教育内容の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none">・保育カリキュラムは、カトリックの教えを基に教育目標を立て園児の発達を見通して作成している。・モンテッソーリ教育を取り入れ、園児自らが、主体的に事物や他者、自然現象、社会事象などの環境に関わり考えて自主的に活動を展開していけるように環境を構成している。・3歳～6歳の異年齢縦割りクラスでお互いに思いやりをもって仲良く過ごし協調性や社会性が育っている。

<p>2 保育の在り方、幼児への対応 安全管理の徹底、幼児理解の向上、子育て支援その他の充実を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、文部科学省からの衛生マニュアルに従い職員全員で清掃・消毒に努めている。 ・ 園児の健康的な生活を守るため、常に園医とコンタクトをとり指導をうけている。また、各家庭にも検温やマスク着用等のご協力を頂いている。 ・ 園児が安定した気持ちで過ごせるよう一人ひとりに愛情深く丁寧に関わるように努めている。 ・ 懇談会や参観日等が通常どおり行えず、子育て支援として保護者とのつながりが希薄になってしまった。
<p>3 保育者としての資質 保育専門家としての能力、姿勢、責任等資質向上を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 園児の内面を理解し、個性を把握し、性格や年齢及び発達段階に即した援助の仕方を工夫する。また、園児と一緒に生活を創りだすことを楽しむ。 ・ 園児のこと・クラスの出来事等で必要なことや問題点などは報告や連絡を怠らぬで行う。また、クラスに関係なく教職員全員で一つのチームであることを自覚し、自分の役割に責任を持って行動する。 ・ カトリック幼稚園の教職員として、保育時間外でも保育者としての誇りと自覚をもった言動を心がける。
<p>4 保護者への対応及び家庭との連携 園児に関わる情報の発信と受信、保護者のニーズの把握につとめ、要望や苦情に適切な対応を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者に対し日頃から園の考えを分かりやすく伝え信頼関係を築くよう努めてきたが、参観日や懇談会の中止、行事参加の制限等があり、園便り等紙面による補足説明では難しいことがあった。 ・ ホームページのブログや緊急メールを使い、ブログでは写真を使って子ども達の様子や活動を、緊急メールでは家庭との連絡を発信してきた。 ・ 行事の中止・縮小に対する保護者の思いや不安を受け止め、アンケートなどを用いて要望を聞き、コロナ禍での園の方針も丁寧に説明し事情を理解して頂けるよう対応してきた。
<p>5 地域社会との連携 地域の自然や社会との関わり及び小学校との連携を図り、地域開放の努力をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市内感染状況や感染防止対策等から判断して円山動物園やりんご狩り美香保公園へ出かけ、園外保育を楽しむことが出来た。 ・ 年間予定の5回の園庭開放終了後、保護者からのご希望に応え急遽追加で冬期間のホール開放を行い、年15回開催する事が出来た。地域の未就園児親子が遊びに来てくれ大変喜んで頂けた。 ・ 東区幼保小連携推進協議会議は中止になったが、小学校入学にあたり電話で小学校の先生との連携を図った。

<p>6 研修と研究 研修・研究を積極的に行い、専門性を高める努力をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ禍ではあったがオンライン研修を利用して日本モンテッソーリ協会(学会)第 53 回全国大会に参加し、モンテッソーリ教育の専門性を高められるよう勉強することができた。その他、北海道カトリック幼稚園教職員研究大会、札幌市幼稚園新人教諭研修、特別支援研修、東区幼稚園研修、リーダー研修会などにも参加した。 ・ 日々の園内消毒、保育活動や行事内容検討等の職員会議に追われ、夏・冬休みに予定していた園内研修が進まなかった。
<p>7 情報公開 保育の現状等や自己点検・評価の結果等を個人情報保護に留意しつつ、積極的に園便り等で情報公開する努力をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一年を振り返って各保育者は自己評価を行った。結果は年度末の役員会で伝え、保護者代表として学校関係者評価を頂きホームページで公開する。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

<ul style="list-style-type: none"> ・ 園の教育目標や教育計画について、日々の保育を振り返り自己評価をすることによって、個々の課題を具体的にすることができた。 ・ 現在も続くこのコロナ禍に対し新しい意識を持ち、教職員全員で一人ひとりの幼児を育てるという視点に立って、チームとしての教職員間の共通理解と協力体制を築いていく。
--

5. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
<p>安全管理</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 園児の命を守ることを最優先に考え、文部科学省・教育委員会からの指導、状況把握や情報収集などを基に感染拡大防止対策を実行していく。 ・ 昨年より災害時等保護者への緊急連絡のため「セコム緊急メール」を導入し引き続き活用できた。 ・ 消防法を踏まえて施設設備の安全管理に努め、年2回の避難訓練(火事・地震)を行った。また、災害時のため、全園児分のアルミブランケット・保存用ビスコ・飲料水を備蓄している。 ・ 園児・保護者・教職員にとって安全な環境であるために、玄関電気施錠を行い外部からの侵入者を防ぎ、玄関・1階ベランダに防犯カメラを設置し画像を保存している。 ・ 警察や札幌私幼から提供される不審者情報には速やかに対応する。 ・ 緊急時に備え、園内にAEDを設置している。 ・ 園児や教職員の健康診断を行っている。

<p>特別支援教育</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特別な支援を要する園児の発達・成長状況を把握し、園と保護者が良く話し合って理解し合い、家庭や東区幼児教育支援員、各関係機関と連携・協力しながら指導計画を立て、職員間で共通理解の上、協力し合い援助している。また、発達と学びの連続性を確保するため小学校との連携を図っている。 ・ 特別支援教育に関する研修を受け、日常的な保育の場面で活かせるように努めている。
<p>園に対する保護者の満足度の把握</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今年度は懇談会や行事お手伝い等が中止になり保護者から直接声を聞かせて頂く機会を設けることが非常に難しかったが、年度末には新年度説明会を開催し、その後アンケートを使って園に対するご要望などを把握する事が出来た。また学年別クラス懇談会を行い子どもの成長を喜び合うことが出来た。 ・ 保護者に「夏休み・冬休みの様子」や「卒園によせて」を書いて頂き、園長・副園長・担任が読んで子どもの家庭での様子や日々の成長、保護者の思いを把握させて頂いている。 ・ 保護者の心配事や悩みには丁寧な話を聞き迅速に対応する事を心がけている。

6. 学校関係者の評価

各組・各学年のクラス代表の方に、本園の行った自己評価の内容についてご意見、ご感想をいただきました。

1. 保育の計画性

- ・ 子どもはお仕事を楽しんでやっているようです。1 つのことにじっくり取り組むモンテッソーリ教育はこれからも続けてほしいです。
- ・ 園の方針や教育内容を保護者に伝え、理解できるように努め、相互理解のもと園児に関わっていた。日々のお祈りや行事、モンテッソーリ教育を通して、園児の心身の成長発達を促していた。異年齢縦割りクラスで、園児たちは相互に学び育ちあう事ができた。
- ・ カトリックの教えを基に保育カリキュラムを計画し、1 年の季節・行事・園児の成長に合った内容を行い、園だよりでも共有できている。
- ・ モンテッソーリ教育は、異年齢に対応した教材を取り入れ、その子に合った成長・興味に対して自主的にステップアップできる環境になっている。
- ・ 縦割り教育の中で年長児が年下の子を思いやり、年下の子は、今まで年上の子からの愛情を受け、自分が年長児になった時に年下の子を思いやる気持ちが生まれ、年長児は年下の子の憧れの目標となり、相手を思いやる気持ちが子ども達に育まれる。
- ・ コロナ禍でも可能な限り年間行事や保育が計画的に行えるように、感染対策を行いながらその時の状況に合わせて臨機応変に行事ができる工夫・アイデアを出し日々努力している。
- ・ 子ども達は、日々のお祈りや行事を通して、神様を身近に感じる事が出来る。
- ・ 何か相談や悩みがある時は、いつも子ども達や保護者に優しく寄り添っている。

2. 保育の在り方及び対応

- ・何かあればすぐに連絡をくれるので、安心して預けています。
- ・緊急事態宣言が出て、他園は通常通りの登園をしている中、天使幼稚園は素早く休園措置を取り、職員の方々や園児と家族の感染拡大を防げて安全管理が出来ていると思います。このことに関して保護者から様々な意見があったと思います。日頃からの職員の方々の体調管理・園内の清掃と消毒作業、保護者と園児による検温・体調管理・マスク着用の協力から感染拡大している時期も感染者の急増やクラスター等発生せず過ごす事が出来ています。そのような日々を過ごしてきて、やはり幼稚園の判断は正しいと思います。
- ・園内はいつも清潔が保たれ、感染防止マニュアルに沿った消毒や対策が行われている。
- ・園医と連携し、情報を発信したり感染者が出た時には必要な措置が速やかに行われていた。
- ・一人ずつ様子に気を配り、丁寧に愛情深く接してくれているのが、子どもの様子から伝わり安心して預ける事が出来た。
- ・参観や懇談が中止され、子どもの様子を知る機会が減っていた。学級便りの発行やブログの更新頻度を増やすなどをしてよかったのではないかと思います。

3. 保育者としての資質

- ・どの先生も対応がきめ細やかで丁寧です。
- ・子どもに寄り添い、苦手なことをする時には背中を押してくれて、出来た時にはたくさん褒めてもらい、この1年でたくさん成長しました。コロナ禍の制限のある生活の中で少しでも楽しく、子どもが進んで協力したくなるような工夫をして下さり、楽しい園生活を送る事が出来ました。ありがとうございました。
- ・縦割り教育により、1クラスに3学年の園児がいる中で、それぞれの学年に合わせた園生活を送れるように配慮されていると思われまます。園児本人から担任以外の先生の話を知ることがあるので、担任のみでなく広く教職員と触れ合い、連携している事が伺える。
- ・いつも子どもの気持ちに寄り添って園での生活をより良いものにしようとして下さっていることが良く分かります。他のクラスの子どもにも笑顔で話しかけてくれ、先生方全員で見守り、真剣に子どもと向き合っていていただき、とても感謝しております。

4. 保護者への対応

- ・連絡メールが始まったので伝え漏れがなくてよい。来年度から全日保育になるなど要望が通ったと感じる。
- ・昨今の情勢により参観日や行事等の縮小で参加が難しかったことは残念でしたが、アンケート等で要望を聞いてくれたり、個々への声掛けもして頂いたり、とても丁寧な対応をしてくださっている。また、今後より親子共に寄り添った体制になることがとてもありがたい。
- ・アンケートの実施や普段の声掛けから、保護者に寄り添い、より良い園にするための姿勢を感じる。また、実際に意見を取り入れ、実行している。
- ・行事の参加制限や中止などで、園内の様子を知る機会は少なくなったが、ホームページでは写真の掲載・様子を発信、送迎時にも園での様子を報告してくれるなど、保護者の不安を解消できるよう努めてくれた。
- ・緊急時にもメールでの対応にて情報共有、迅速に対応されていた。

5. 地域社会との連携

- ・もう少し、近所の公園に行くなどしてほしかった。
- ・東区のPTA連合会を退会したのは良かったと思います。
- ・園外保育の実施は有意義と考えるが、1回/年は少ない。(年少)
- ・時節柄、園庭開放などは難しい判断だったと思うが、実施したことは評価できる。
- ・小学校の先生との連携は非常に重要と考えるため、連携の実態を発信すべき。
- ・コロナ禍の中、いつもの友達と違った場所で遊ぶ事は子ども達にとってもよい思い出の一つになったと思います。園開放は気になっているけれど、知るチャンスの無かった親子さん

達にも幼稚園を知ってもらえるととても良い機会だと思います。

6. 情報公開

- ・HP の更新など頻度を下げても定期的にする方が保護者がアクセスする習慣ができ、効果的な発信ができると思う。(2週間に1回)
- ・コロナによる閉園に関しては、リスクを過大に評価していると感じているが、園医の指導などの経緯が示されれば不満は解消されると思う。
- ・参観日を作っていただき、実際に子どもの普段の様子を見られたことはとてもありがたかったです。園だよりはついつい見逃してしまう事があるので、持ち物など大事なことはもう少し強調して記載していただけるとさらにありがたいです。
- ・評価票に記載の通り、コロナ禍で参観・懇談会・行事の中止により、紙面等での発信には限界がある中でも大変努力されていたのが伝わります。

7. 財務状況

大手監査法人である太陽ASG有限責任監査法人（東京）の監査を受け、適正に運営されていると認められている。